

## 9月 定例教育委員会会議録

- |   |      |   |                    |
|---|------|---|--------------------|
| 1 | 日 時  | 令和3年9月30日(木)  | 午後5時30分から午後6時40分まで |
| 2 | 会 場  | 磐田市役所 西庁舎3階   | 特別会議室              |
| 3 | 出席者  | 村松啓至教育長<br>青島美子委員、秋元富敏委員、鈴木好美委員、大橋弘和委員  |                    |
| 4 | 出席職員 | 市川 暁教育部長、神谷愛三郎教育総務課長、内藤弘隆学府一体校推進室長、<br>水野康代学校給食課長、吉村康宏学校教育課長、鈴木都実世中央図書館長、<br>伊東直久文化財課長、川島光司幼稚園保育園課長 | 傍 聴 人 0人           |

(進行委員：大橋弘和委員)

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ・教育長報告

○最近のニュースで、量子カスケード光検出器が浜松ホトニクスから販売をされたという話があります。この検出器は、化学反応を1兆分の1秒で計測でき、工業関係などに大変役に立つという事が言われています。この事は社会を大きく変化させる1つのきっかけになるのではないかと考えています。浜松ホトニクスならではの挑戦であり、人間の社会というのは一步一步進んでいるように思います。

緊急事態宣言がついに解除されます。長く苦しい戦いだったと思います。学校教育課を中心に、夜遅くまで対応するなど、大変な事もあったと思います。新型コロナウイルス感染症の第5波はこれまでと同様の傾向で、感染経路の主なもの家庭内感染であり、学校内感染はありませんでした。子どもの頑張りや学校での努力に感謝したいと思います。

放課後児童クラブの支援員の皆さんも大変頑張ってくれて、他市では児童クラブでのクラスターが発生したことを聞きましたが、磐田市は無く、消毒の徹底やおやつの時間のマナーなどに気を付けてくれた成果だと思います。その他にも中央図書館や文化財課のイベントも含め、頑張っていたくださりありがとうございました。

昨年8月から今年9月までの総括ですが、この1年、千人近くいる教員からは1人も新型コロナウイルス感染症の陽性者は出ていません。また、学校閉鎖、学年閉鎖、学級閉鎖を一部行い、閉鎖後、家庭内の感染等があったと聞いていますが、学校関係の感染などはありませんでした。子ども達や教職員は良く頑張りました。新型コロナウイルス感染症の第6波が心配されますので、マスク、手洗い、適切な距離の確保に留意し、乗り越えていけるようにしていきます。

最近発熱による欠席者が出ていますが、ワクチン接種の副反応が原因です。これは子どもへのワクチン接種が確実に進んでいることを示しており、磐田市はいち早く接種の体制がとれている証拠です。

9月10日に磐田北小、富士見小でオンライン授業を試行しました。他の学校は17日又は18日に行いました。小学校1年生から中学校3年生まで全員がオンライン授業を試したことになります。いつでもどこでも繋がるLTEということでしたが、中には電波状況の悪い所もあり、その対応について委託業者と毎週話し合いを行い、是正しながら取り組んでいます。タブレット端末は小学1年生でも有効に使えることが分かりました。

また、コンピューターを使うことは学びが深まるのではなく、子ども達の学びの選択肢がより広

がったということだと思えます。一方で、人の心も忘れずに活用を行っていきたいと思えます。

### 3 前回議事録の承認

8月31日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

### 4 教育部長報告

○始めに新型コロナウイルス感染症関連の磐田市の動きですが、市内の新規感染者はかなり減少してきました。市役所の感染症対策は、昨日会議を開き、公共施設の運営は感染症対策しながら、通常モードへ徐々に戻していくことになりました。学校においても、一部制限があった部活動などの教育活動も実施可能としていきます。

次に議会関連ですが、市の新型コロナウイルス感染症対策業務に配慮し、一般質問を1日のみの開催として行いました。教育委員会関連では、学校給食の期間限定の無償化、千葉県交通事故を受けた通学路点検、GIGAスクール、学校のバリアフリーについてなどの質問が出ました。また、補正予算でも新型コロナウイルス感染症関連の様々な施策を追加予算に上程しています。また、向陽学府一体校の基本設計と実施設計についても上程をしています。なお、会期は10月13日までとなります。

<質疑・意見>

なし

### 5 報告事項

#### (1) 地域づくり応援課

<質疑・意見>

なし

#### (2) 幼稚園保育園課

<質疑・意見>

なし

#### (3) 教育総務課

○向陽学府新たな学校づくり検討会についての内容を報告します。第7回向陽学府新たな学校づくり検討会は向陽学府内小中学校、磐田市役所等を会場にオンラインで開催しました。今回は第6回で検討した主な必要諸室の考え方、構造設備の基本方針、ゾーニングの配置案について再度検討しました。委員の皆様の見解として、学校施設が避難所として使用された場合の配慮について、各教室へのインターホンの設置、敷地内に貴重な埋蔵文化財があるので案内看板などがあると良い、周辺の道路整備について、学校施設のバリアフリー化について、登校時の児童生徒とスクールバス等の導線など様々な意見を頂きました。

向陽学府新たな学校づくり検討会はこの第7回をもって最終回となり、今後はこれまで検討してきた基本計画や基本構想をまとめ、次の基本設計、実施設計に入っていく予定です。

<質疑・意見>

なし

#### (4) 学校給食課

<質疑・意見>

なし

#### (5) 学校教育課

##### ・令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について（ホームページ公開内容）

○令和3年5月に実施しました全国学力・学習状況調査の概要ですが、本市は小学校国語、算数両教科とも県、全国平均正答率より高いという結果になりました。中学校においても国語、数学両教科とも県や全国よりも平均正答率が高くなっています。子ども達が頑張ってくれていたことと、授業改善の成果でもあり、小学校での学びを活かしながら、中学校でも子ども達の実態に合わせた指導が継続出来ていると認識しています。

また、学力だけではなく学習状況調査という生活についての質問用紙があり、その中で特に顕著だと思うところは、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問がありますが、小中学校とも「YES」、つまり参加していると答えた割合が全国に比べて小学校が16%、中学校でも28%以上高くなっています。そのような結果が出ているのは、子ども達が地域に育てられ、地域で活かされ、地域で学ぶということがこの磐田市の特徴だということがわかりました。

今後については、タブレットが導入されましたが、オンライン学習を入れたから学力が上がるのではなく、心が通った今までの磐田の教育を大事にしながら、学力向上と生活力向上を目指していきたいと思います。

<質疑・意見>

■中学校の国語で、文章を理解し自分の考えを書くことが苦手という部分について、自分の考えを書くことができるように改善してほしいと思います。もう少し文章を書くことを小さい時から訓練する機会があるとよいと思います。

□文章を書く機会が減っていると思っていますが、今の各学校の学習の中では、目当てからまとめまでしっかりやる流れがあり、何を自分は理解したのか、何が分かったのかを自分の言葉でまとめて書く学校が多くなってきたと思います。例えば、算数で小数の引き算の勉強をした時に、その問題が出来たから終わりではなく、小数の引き算のまとめとして、小数点の位置を合わせて筆算で計算するなど、自分の言葉でしっかりまとめるということが、現在、学校の中で主流になっています。そういった部分で文章を書く機会をこれからも大事にしていけるように学校へ指導していきたいと思います。

#### (6) 中央図書館

○緊急事態宣言が解除されることを受け、今は来館機会を減らす目的で、貸し出し冊数と期間の緩和をしていますが、こちらの方も周知期間を設けた上で元に戻していきたいと思います。周知期間については10月11日までとして、10月12日から元に戻し、通常の貸し出しをしていきたいと思っています。併せて、現在中止しているおはなし会などのイベントについても全館共に開始していきたいと考えています。

<質疑・意見>

■LGBT パネル展についての反応はどうか。

□入口に入って正面の目に留まる場所に展示をしたこともあり、多くの方に展示を観ていただけだと思います。パネルやパンフレットと一緒に並べた LGBT 関係の本については、どの程度貸し出しがされたかは今数字を持ちあわせておりませんが、パンフレット等を持っていかれる方は多く、何度も補充をいたしました。また、タイミングとしてオリンピック・パラリンピックにおける様々な選手の活躍や姿から受けた影響も大きいものがあったと感じます。LGBT に関する意識が高まりつつある社会となってきたと思います。今回のパネル展へ興味関心を示し、何より理解をしようとする方が多くいらっしゃるよう感じました。

## (7) 文化財課

<質疑・意見>

■現在、渋沢栄一さんに関するテレビ放送がされていますが、磐田市で関連したことを開催できれば参加者が集まるかと思いますが何か予定はありますか。

□新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人を集めて行う講座や講演は難しい状況ではありますが、今後の状況も見ながら検討いたします。

## 6 協議事項

・令和4年度の学校教育及び社会教育に関する一般方針等について（意見聴取）

○リーフレットは各年度の教育委員会の目標、方針、施策を取りまとめ、教育長、教育委員からのメッセージと共に一般に周知するために作成しています。教育に関する基本的な方針は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条の定めにより、教育委員会が定めるもので、令和4年度の教育委員会の目標や方針について委員の皆様のご意見をいただき、決定していきたいと考えています。

教育委員会の目標は平成17年度の市町村合併時には「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民の育成」でしたが、その後、平成22年度から「の育成」を取り、現在の形としています。方針の3つについても平成28年度から継続しているものです。施策については、方針決定後に関係課で具体的な内容について予算も含め検討していきます。

令和4年度も引き続き、この目標と方針でよろしいか伺います。また、各方針の説明について、令和3年度は、「しなやかさ・多様性・自己肯定感・良質な言葉」などの言葉を盛り込んでいますので、次年度に対するキーワードなどのご意見もお願いします。

<質疑・意見>

○教育委員会の目標は変える必要は無いと思います。この目標に対して、目途が立ったり、達成したり、もっと重要なことが出てくる場合は変えていく必要もあると思いますが、令和4年度は変更の必要は無いと感じます。

施策や方針については、まず方針2に「地域力を活用し」とありますが、もう少し踏み込んだ言葉が必要ではないかと感じています。

方針1の施策1「魅力ある園・学校づくりの推進」については、1人1台のタブレットを活用していますが、学校の授業だけではなく、家庭学習や保護者との連絡手段にも使え、教員間の連絡手段など色々な分析にも活用するというを入れるとよいと思います。

方針2の施策1「地域の学習資源を活かした教育活動の推進」で、磐田市はジュビロ磐田があり、サッカーやラグビー、卓球なども力を入れています。一斉観戦や学校訪問以外に、各学校で歴史教室や未来授業を更にやっていただきたいと思います。ここは切り分けて前に出した方が良

いのではないかと思います。それはコミュニティーを上手く使うということや、その人たちの活躍の場にもなってくるというようなことに繋がるからです。

ながふじ学府は開校して間もなく、地域連携室を設置し、地域の方々が入り色々な事を議論する場になるように進んでいくと思うので、その地域連携という部分も、方針2と方針3の両方にかかってくると思うので、何かそういったものを入れられればよいと思います。

最後に、方針3の施策3「図書館サービスの向上」について、ながふじ図書館は一般開放されていて、学校の図書館としては珍しいことだと思いますので、他の学校もこれから繋がっていくのではないかなと思いますので、そういったことも入れられるとよいと思います。地域の力を使い、コミュニティー作りに繋がるようなところを方針2へ少し入れられるとよいと思います。

○教育目標を変える必要はないと思いますが、「ふるさとを愛し」という部分は、「磐田市を愛し」として認知して欲しいと思います。子ども達に磐田を大事に思ってもらいたいことと、しっぺいが磐田の子ども達の中に入っているように、学府という概念も小中学生に根付いてほしいと思います。子ども達は地域が身近にあり、学府単位で自分の地域に誇りがあると思いますので、それが磐田を愛することに繋がるのではないかと思います。

歴史教室や未来授業はほとんど地域の方を呼んでいて、学府の中の地域の人との繋がりを前面に出せるとよいと思いました。

磐田市はスポーツより、文化的なこと前に出してほしいと思います。また、教育委員会へのメッセージや写真は無くてもよいと思いますが、それぞれの教育委員の思いが書かれている部分は良いと思います。

■リーフレットは一般の方へ配布しますか。

□印刷部数は2,500部で、配布先は市議会議員、小中学校、幼稚園こども園、交流センターなどで、一般の方へは配りません。ただし、PTAの関係者には配りますので、一部の保護者には配布します。

■私が教育委員会に入る前に、「磐田の教育道しるべ」の冊子を貰った時、良いことが書いてあるなど強く思いました。策定されてからしばらく経ち、薄れてきていると思いますので、この「磐田の教育道しるべ」をもっと前面に出し、保護者にも読んでほしいと思います。

□「磐田の教育道しるべ」の周知については、教育委員会として今後検討します。

○「磐田の教育道しるべ」の策定に携わった者として、知ってもらえることはとてもありがたいと思います。何故12項目あるかという、1ヶ月に1つずつ、例えば横断幕や垂れ幕などにして掛けることができるという事で12項目にしました。言葉一つ一つ丁寧に吟味し、完成させた思いがありますので、できるだけ広めたいと思います。小学生には難しい言葉も入っていますが、あえて優しい言葉にせず、いつか分かる時が来ると思い、この言葉に決めたのを覚えています。

○「現在進めている主な事業」について、時系列で書かれていますが、上の方が重いと感じて読むものなので、教育の中で力を入れている重点的なものから並べた方がよいと思います。

○方針3ですが、「良質な言葉に巡り合う事で豊かな人生を送れるよう学びの場」を「豊富な語彙により豊かな人生を送れるように」とした方がよいと思います。語彙が豊富であるということは、日本語で考えたり計画を練ったり色々な事をしていくので、語彙が豊富でないと貧相で豊かでないと思うからです。

○昨年教育長からご説明頂いたとおり、方針の説明書きを分かりやすくシンプルにしましたが、方針1と2の説明についてはこのままでよろしいですか。

○方針2については、「温かなコミュニティー」という言葉をもう少しクローズアップすることと、「郷土愛と自己肯定感を高めます」を「学府の郷土愛」にするか「学府等の郷土愛」にするかどうか

か。学府と指定するのは難しいので、「学府等の郷土愛」の方がよいと思います。また、「温かなコミュニティー」という言葉も精査し、「心温かなコミュニティー」の方がよいかなど、語彙をもう少し精査して検討した方がよいと思います。

## **7 その他**

## **8 次回教育委員会の日程確認**

- ・定例教育委員会

日時：令和3年10月28日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

## **9 閉会**